

みずほCustomer Desk Report 2022/12/06号 (As of 2022/12/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.73 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.45	1.0545	141.79	1.2295	0.6813
SYD-NY High	136.83	1.0595	143.58	1.2345	0.6851
SYD-NY Low	134.14	1.0481	141.76	1.2164	0.6690
NY 5:00 PM	136.80	1.0493	143.51	1.2185	0.6699
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,947.10	▲ 482.78	日本2年債	▲0.0200%	0.0100%
NASDAQ	11,239.94	▲ 221.56	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,998.84	▲ 72.86	米国2年債	4.3936%	0.1115%
日経平均	27,820.40	▲ 42.50	米国5年債	3.7873%	0.1302%
TOPIX	1,947.90	▲ 6.08	米国10年債	3.5819%	0.0921%
ソコ日経先物	27,680.00	▲ 25.00	独10年債	1.8825%	0.0295%
ロンドンFT	7,567.54	▲ 11.31	英10年債	3.0995%	▲0.0455%
DAX	14,447.61	▲ 81.78	豪10年債	3.3790%	▲0.0160%
ハンセン指数	19,518.29	842.94	USDJPY 1M Vol	13.55%	▲0.21%
上海総合	3,211.81	55.67	USDJPY 3M Vol	12.46%	▲0.13%
NY金	1,781.30	▲ 28.30	USDJPY 6M Vol	11.62%	▲0.17%
WTI	76.93	▲ 3.05	USDJPY 1M 25RR	▲1.22%	Yen Call Over
CRB指数	270.35	▲ 6.33	EURJPY 3M Vol	11.33%	▲0.28%
ドルインデックス	105.29	0.74	EURJPY 6M Vol	11.16%	▲0.24%

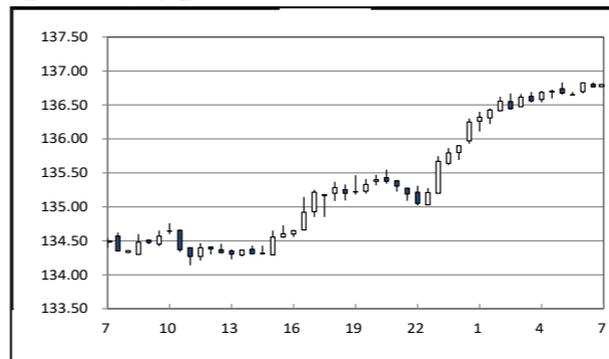
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月5日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 -1.8%	-1.7%
	23:45	米 サービス業PMI・確報	11月 46.2	46.1
12月6日	00:00	米 製造業受注(前月比)	10月 1.0%	0.7%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	10月 0.8%	-
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 1.1%	1.0%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	10月 0.5%	0.5%
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 56.5	53.5

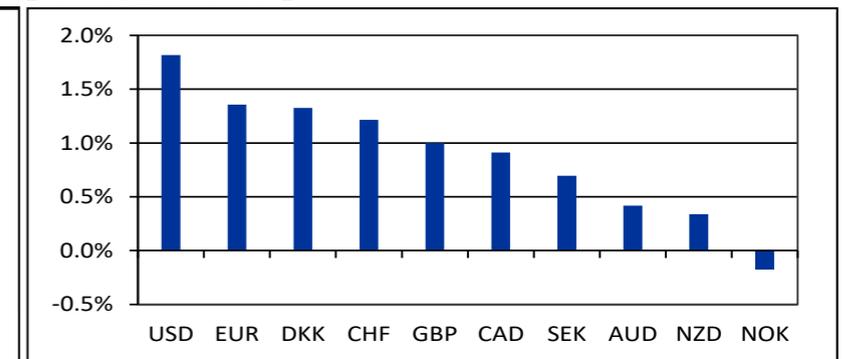
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	6-Dec 3.10%	2.85%
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 0.1%	-4.0%
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$80.0b	-\$73.3b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-138.00	1.0400-1.0600	142.00-145.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場では、ドル買いが優先となりドル/円は136円台後半まで上昇した。米長期金利が堅調に推移したことや、米11月・ISM非製造業指数などの経済指標が予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが買い戻された。先週はパウエルFRB議長の利上げペース減速への言及を受けてドル売りが加速していた。また、ユーロは追加利上げ期待から対ドルでの下落が緩慢だった。本日もドル/円はドル買いの流れから上昇すると予想。昨今の堅調な経済指標の結果等を受けて、足元の利上げ幅縮小を意識したドル売りからターミナルレートの上昇を意識したドル買いに注目が当たりそう。但し、一日の値幅も大きくなってきているため、ドル売りの流れへ一転して戻る可能性にも警戒したい。

東京	東京時間のドル円は134.45レベルでオープン。仲値にかけて五・十日のドル買いに支えられ134.76をつけたが、その後は134.14まで反落。一巡後は前日からのドル売りの流れが意識され上値重い展開。新規材料にかけ中、終盤にかけては買い戻され134.61レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.61レベルでオープン、新規材料に欠ける中、全般的なドル買いが進行し、上昇。一時135.55まで上値を切り上げ、135.03レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	135.03レベルでNYオープン。Fedのブラックアウト期間で要人発言が伝わらない中、朝方はドル買い戻しが先行する中、米11月サービス業PMI(確報値)が予想を若干上回ったこともあり、135.90まで戻す。続いて発表された米11月ISM非製造業景況指数は予想を上回り、今後Fedメンバーの姿勢が効派になるとの見方からドル買いが優勢となり、136.67まで上伸する。午後、金利上昇が続く中、ドル円はギリギリまで推し一時136.83まで上昇し、136.80レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でリスクオンの動きが強まったことから1.0595まで戻し、1.0590レベルでNYオープン。朝方は高値圏での推移が続いたが1.06ちょうど付近では売り意欲も強く、サービス業PMI、ISM非製造業景況指数が予想を上回ったこともあり1.0490まで反落する。午後ドル買い戻しが継続したことから1.0481まで反落し、1.0493レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・松木